

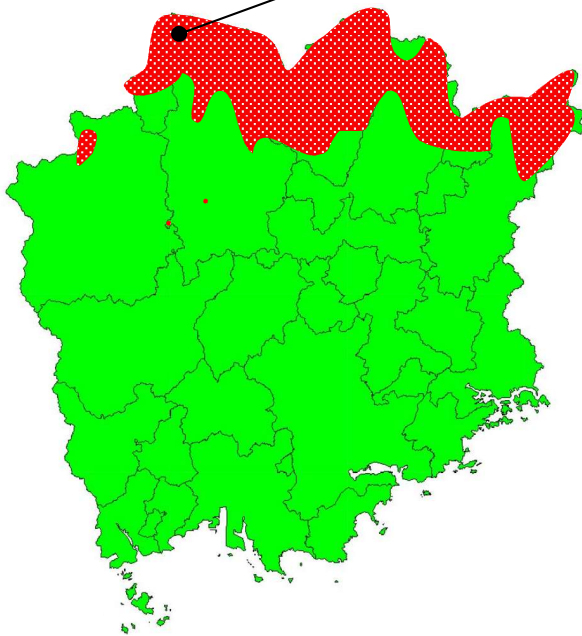
# ナラ枯れ被害が拡大しています！

ナラ枯れは、ナラ類、シイ・カシ類の樹木を枯らす病原菌（以下「ナラ菌」という。）とそれを媒介するカシノナガキクイムシ（以下「カシナガ」という。）によって引き起こされる樹木の伝染病です。

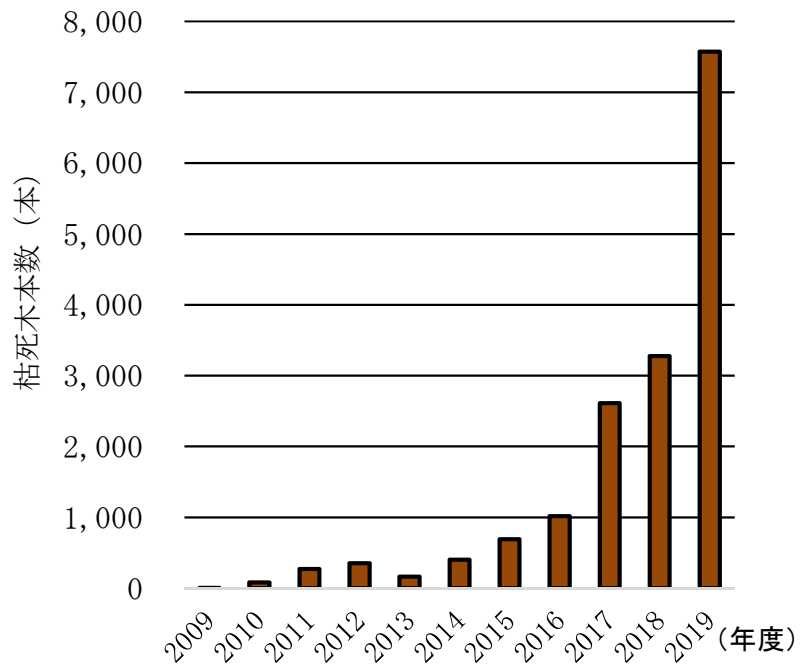
1990年前後から日本海側を中心に拡がり、景観の悪化や森林資源の消失、水源かん養や土砂流出防止など、森林の多面的機能の低下が危惧されており、森林病虫害等防除法で法定害虫に指定されるなど、全国的に問題となっています。



真庭市蒜山地域の被害状況（2019. 9）



岡山県内のナラ枯れ被害確認箇所  
(令和元(2019)年度まで)



岡山県内のナラ枯れ被害の推移

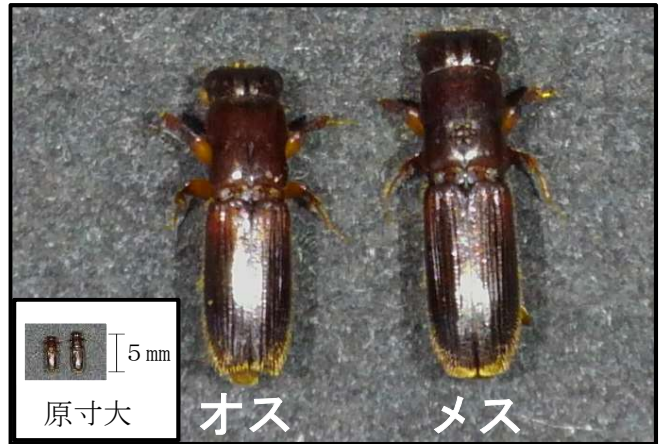
岡山県では、平成21(2009)年度に初めて被害が確認されてから、主に県北部地域で拡大しています。

## ナラ枯れとはどんな病気？

ナラ枯れは「ブナ科樹木<sup>いちよう</sup>萎凋病」と呼ばれ、6月下旬から8月頃にかけて、体長5mmほどのカシナガが繁殖をするために、岡山県でも広く自生しているブナ科樹木（ナラ・シイ・カシ類など）に穿入します。

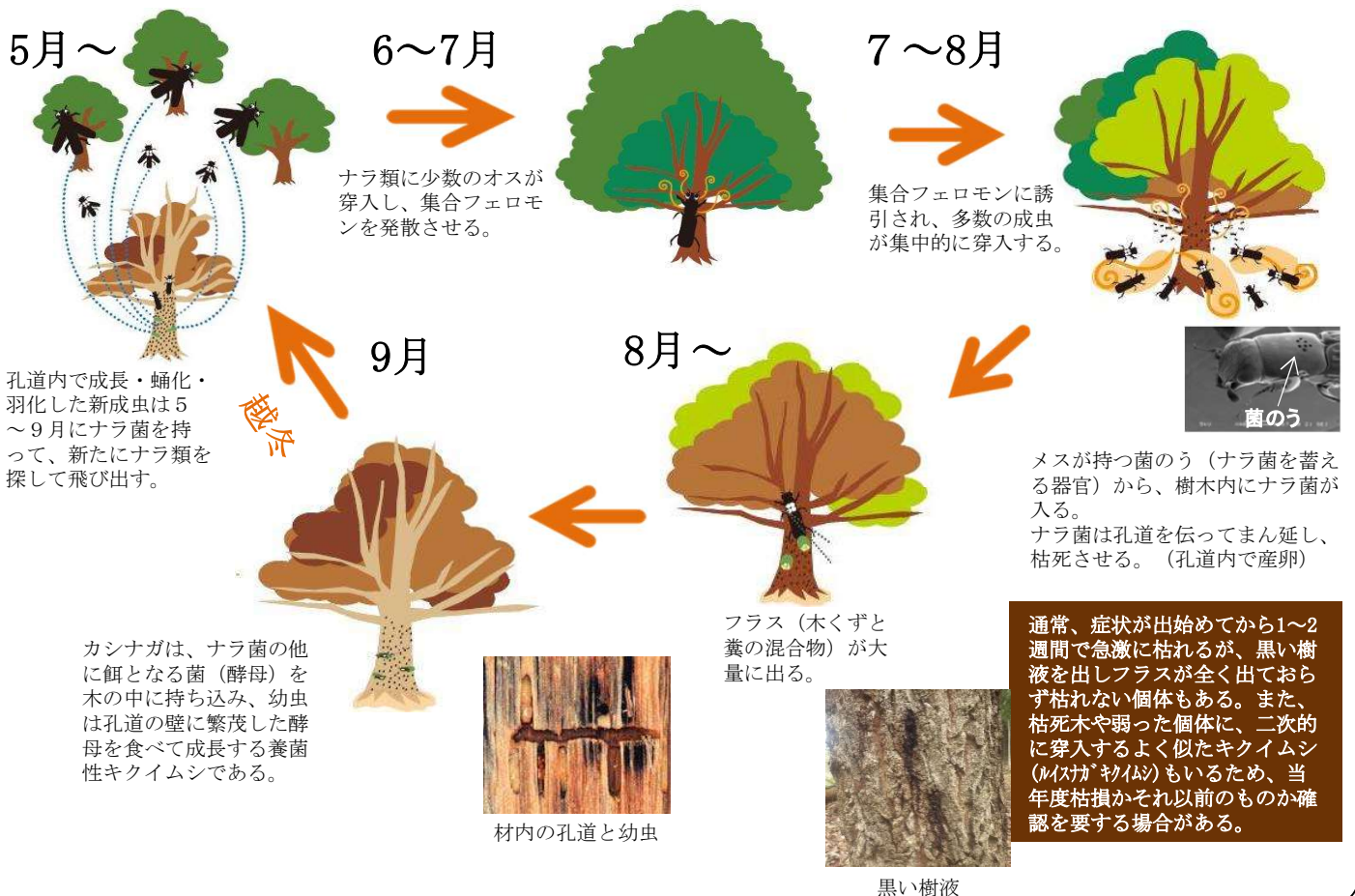
その際に、餌となる菌とともに持ち込まれるナラ菌 (*Raffaelea quercivora*) が引き起こす作用により、木は水を吸い上げられなくなり、症状が重い場合は枯れてしまいます。早いものは7月下旬から変色し始め、とても早い紅葉のように見えます。

また、細い木より大きな太い木のほうが被害を受けやすいといわれており、原生林や巨樹・老樹など貴重な森林や木が被害を受ける可能性があります。



カシノナガキクイムシ

### ナラ枯れ発生の仕組み



## ナラ枯れに有効な対策はないの？

この方法ですべてうまくいくという特効薬のような対策は、残念ながら現在のところ確立していません。

一方で、ナラ枯れ対策として実施されている方法は様々あり、広い地域に対応したい、特定の木や地域を重点的に守りたい、これまで被害がなかったのに1本だけ枯れたなど、状況に応じた対策が行われています。

駆除対策については、カシナガが羽化・脱出する前の5月までには、作業を完了させることが重要です。

また、被害木は、カシナガが脱出し、健全木へ穿入する恐れがあるので、未被害地への移動・持ち出しは行わないようにしましょう。

### 伐倒くん蒸

被害木を伐倒、玉切り、集積し、全体をシートで被覆密閉して、NCS剤(カーバム剤)(農薬登録第19249号)でくん蒸処理し、樹木内にいるカシナガを殺虫する方法です。初期発生地域など確実な駆除が必要となる場合に適します。



### 立木くん蒸 (ドリルくん蒸)

立木のまま樹幹にドリルで注入孔を開けて、NCS剤を注入し、カシナガを殺虫します。

他の駆除方法と比較して、立地条件の影響を受けずに作業することができますが、枯れ木が立ったまま残るので、入込者のない場所での施工に適します。



### 誘引捕殺

資材を用いてカシナガを捕殺するとともに、林内の木を枯れにくいといわれる「穿入生存木」に転換することを目的とした方法です。

岡山県内ではカシナガの集合フェロモンを利用して誘引されたカシナガを捕殺する「カシナガトラップ」が使われています。



### 伐倒+粘着シート

伐倒くん蒸と同様に、被害木を伐倒、玉切り、集積し、粘着シートを被害木の上に置いて全体をシートで被覆する方法です。

木から脱出したカシナガを捕獲するため、春に実施する駆除に適しています。また、粘着剤を使用した方法のため薬剤を使えない地域でも実施できます。

(シート被覆前)



### ビニールシート被覆

立木をビニールシートで覆う方法です。カシナガを積極的に捕獲する「粘着シート被覆」という方法もあります。

未被害木に対してはカシナガの穿入防止として、被害木に対しては脱出防止として有効です。

穿入生存木への施工は、「ビニールシート被覆」ではなく、「粘着シート被覆」を行います。



### その他

#### ○焼却・炭化

被害木を伐倒し、焼却又は炭化する方法です。確実な駆除方法のひとつです。

#### ○チップ化

被害木を厚さ10mm以下のチップにして殺虫する方法です。カシナガの幼虫は乾燥に弱いため秋～冬駆除で効果を発揮します。

春期に施工することは控えることと、破碎後は十分乾燥させ、燃料等として完全に利用することが重要です。

#### ○樹幹注入

守りたい無被害木に殺菌剤を注入することで、カシナガが穿入してもナラ菌の繁殖を抑えて枯死を防ぎます。

# ナラ枯れの早期発見に ご協力ください!

ナラ枯れは、思いもよらないところで発生することがあり、そこが発生源となって急激に被害が広がってしまうことがあります。

これを未然に防ぐためには、皆様のご協力が必要です。

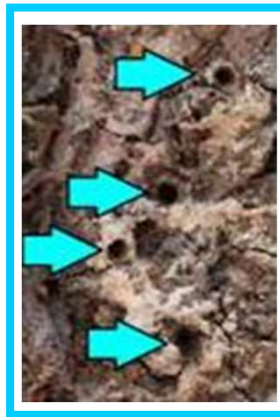
ナラ枯れが疑われる木がありましたら、最寄りの県民局森林企画課などにご連絡ください。



早いものは7月下旬から枯れ始めます。



被害木（枯死木）の葉は、縮れて茶褐色に変色しています。  
周囲の木が落葉しても、**被害木の葉は落ちません。**



穿入痕（φ1.5～2mm程度）



被害木の根元付近には、多数の穿入痕と**大量のフラス**（木屑と糞の混合物）が見られます。



木口が黒く変色し、表面に1.5～2mm程度の穴が開いています。  
このような木は、**ほだ木に使わず丸太の移動は行わないでください。**

## 連絡先電話番号

- 岡山県農林水産部 治山課 086-226-7455
- 備前県民局森林企画課 086-233-9833
- 備中県民局森林企画課 086-434-7051
- 美作県民局森林企画課 0868-23-1377
- 農林水産総合センター森林研究所 0868-38-3151
- 市町村役場農林・産業関係課